

## 10月の予定

- 3日 ピノキオ保育園稲刈り
- 5日 稲刈り大会
- 11日 脇山小稲刈り
- 19日 生松台ふれあい市
- 21日 高田川部屋先発隊来所
- 22日 さざなみ保育園芋掘り
- 24日 朝倉地区産業視察
- 26日 佐賀料理交流会
- 29日 若竹保育園芋掘り
- 30日 岡本保育園芋掘り

## ご協力ありがとうございます

### 【9月の寄贈者】（敬称略）

大島妃南子、福岡リパティライオンズクラブ、(株)コイシ福岡事務所、ナディア、伊藤正美、エヌティエス技研(株)、九電三村、日本エコシステム(株)、射手矢みつこ

### 9月の新入会】（敬称略）

〔法人〕

リキタケ、(株)フードラボ、(株)熊本放送、福岡そばの会、(株)レガロシヨクト、日本電通(株)

〔個人〕

伊藤なり美

## 福岡アジア文化賞授賞式に参加

9月26日(木)に第34回 福岡アジア文化賞授賞式にご招待を受け、研修生一同、参列させていただきました。「固有かつ多様なアジア文化の価値を認識し、守り育てるとともに、アジアの人々が相互に学び合いながら、幅広く交流する基盤をつくる」場である同授賞式には毎年ご招待を受けており、研修生にとっても学びの場となるということで参列させていただいています。また秋篠宮皇嗣妃両殿下もご臨席され、研修生も両殿下を近くで謁見することができ、喜んでいました。研修生にも相互に交流を行いながら、アジア文化を守り育てる人材にもなってもらいたいです。主催者の皆様、ご招待いただき、ありがとうございました。(飯川)

## 体験農園だより

9月7日(土)より令和6年度体験農園秋冬作後期が開始しました。参加組数は35組、うち1組は初参加のご家族となります。当日は10組ほど開始式に参加されました。開始式当日はちょうど他行事と重なっており、研修生の紹介はできませんでした。開始式後、畑に移動し、ニンジン、ダイコン、ジャガイモの播種を行いました。ダイコンはなんとか発芽しましたが、雨が全くと言っていいほど降らず、ニンジンとジャガイモについては発芽が遅れています。9月下旬に入ってから気候が変化したように感じます。開始早々少し心配もありますが、秋冬作も豊作になることを祈りながら、皆様と有機野菜を育てていきたいと思っております。(飯川)



開始式



作業の様子

## 農場研修風景

今年の9月は、お彼岸を過ぎるころまで異常なほどの猛暑が続き、秋野菜の植え付けや種まきがなかなか出来ずに大変でした。特に毎年頭を抱えるのがニンジンの種まきで、この暑さの中でニンジンの種をまいて、それから約6日間畑の土の水分を切らすことなくニンジンの芽が出るまで管理することはとても大変なのです。今年は、9月に来た台風の雨を利用して発芽させようと考えて種をまいたら、予想以上に雨が強く種が流された感じで発芽しませんでした。そしてその後雨が見込めない状況の中で、かん水チューブを利用して川からの水をくみ上げてかん水しましたが、結局のところ50%程度の発芽率でした。毎年の猛暑、異常気象と向かい合いながら、限られたタイミングを見据えて農作業を進めていくことがとても大変です。(豊田)



# まるごと!西日本

2024年10月



@OISCA\_NTC

Instagram

facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: [oiscantc@oisca.org](mailto:oiscantc@oisca.org) 検索 [オイスカ西日本](#)

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

## 公益財団法人オイスカ西日本支部 第27回運営委員会

9月26日(木) オイスカ西日本支部第27回運営委員会九州電力で開催されました。

当日は辻運営委員長(九州電力地域共生本部総務部長)の議長のもと運営会社8社より総務部長様はじめ代理の方にご出席いただき、令和6年度上期事業報並びに収支報告、続いて下期事業計画、収支予算が審議されました。行動制限も緩和され従来に近い取り組みが行われる中、今年度も農産物宅配事業クラウドファンディングの拡充やこれまでの取り組みを更に充実して、オイスカ認知度をアップし活動を活発化してまいります。運営委員の皆様にはお忙しい中ご出席をいただきありがとうございました。(満川)

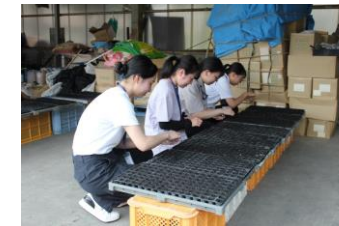


## 福岡県グローバル青年の翼研修会

9月21日~22日にかけて、福岡県グローバル青年の翼の事前研修会が西日本研修センターで行われました。今年は11月にカンボジアとシンガポールを訪問予定で、参加する団員19名及び関係者あわせ25名が第一次研修会に参加されました。事前研修会初日は研修生のお国の紹介交流を行い、グループに別れ研修生はフリップ使い説明をしました。その後はアジアの料理づくりで3ヶ国の料理、東ティモール料理(シェセフ・豚肉料理)チベット料理(エマダセ・野菜スープ料理)、インドネシア料理(ピサンチョコラ・バナナのデザート)を一緒につくり、昼食でいただきました。午後の農業実習は野菜の播種作業で、団員の皆さんは集中して小さい種を指でつかみ苗箱に撒いていました。また旬の栗拾いも行い棘を避けながら徐に両足で皮をむき収穫をしました。団員の皆様にとって特に農業実習では慣れてないスケジュールでありましたが、貴重な体験をされたことと思います。海外研修後の事後研修会も海外研修で得た経験を活かし、更に海外の研修生と交流を深めることとなります。(満川)



グループ別 お国紹介



播種作業



料理交流会



栗拾い作業

## こらぼらQ 電稲刈り大会

9月28日(土)、九州電力送配電「こらぼら米作りプロジェクト」主催の稲刈り大会が開催され、当日はボランティア含めて約180名が参加して賑やかに稲刈り作業を行いました。5月末に植えられたお米の稲は、4カ月間で立派な稲穂を実らせ、猛暑の影響も受ける中でこのようにたくさんの収穫を得ることが出来て本当によかったです。みんなで刈り取った稲は早速コンバインで脱穀され、稲刈りは終了となりました。その後センターに戻ってから、センターの美味しい新米を各自でおにぎりを作って美味しくいただきました。(豊田)



## 大野城大文字まつり

9月21日(土)に大野城市大文字公園にて行われた「おおの山城 大文字まつり」でステージ出演させていただきました。今回、大野城市国際交流協会様からお話をいただいて出演いたしました。ステージでは、バンブーバンドによる演奏を2曲とフィジーダンス、インドダンスを披露しました。約15分のステージでしたが、終始大盛り上がりでした。ご覧いただきました皆様、ありがとうございました😊(飯川)



インドダンス 披露



大園会長&国際交流協会の皆さん



バンブーバンドによる演奏

## 和菓子作り体験 第2弾

9月27日(金)に3名の研修生を対象に和菓子作りを行いカステラとみたらし団子を作りました。2回目の和菓子体験という事で、みんな楽しんで参加。カステラは知ってるけど食べたことない!みたらし団子は、み～んな初めて!日本語のレシピ(出来るだけひらがな)を見ながら全ての工程を3人全員に体験してもらいました。お団子の柔らかさは、ほっぺたぐらい!メレンゲの硬さはボールをひっくり返しても落ちないくらいまで!とか…。ポイントも押さえながら楽しく作れたんじゃないかな!?出来上がったカステラとお団子は、どう盛りつけたら見栄えが良くなるか?お皿も選んで、並べ方も考えて作ったものを、これは誰に渡す分なのか?も考えながら先生たちに配ったり、これは、みんなで食べる用に!と会話しながら楽しい時間を過ごしました。日本の『お・も・て・な・し・の・心♡』も感じてくれたら嬉しいです。(廣瀬紀子)



## 2024 アトリエ木下九州決起大会 および オイスカ交流会

9月4日(水)会員企業のアトリエ木下様九州決起大会並びにオイスカ交流会が西日本研修センターで開催されました。この日の決起大会には九州地区社員50名ほどが参加をされ、午前各エリア店舗の取り組みの意気込みの発表会が行われました。昼食時には海外の研修生とBBQ交流を通して和やかな雰囲気の中ゲームやダンスを披露するなどして交流会も盛り上がり、楽しい食事会になりました。(満川)



BBQ交流会!ゲーム・ダンスで大盛り上がり

## 日本語の様子⑦

「暑いね～もう少ししたら涼くなるから、勉強に集中できるよ!」と話しながら過ごした日々も、光陰矢の如しで、気づけば日本語能力試験まで2カ月をきってしまいました。

### 農業研修生 A クラス

7月にN4に合格したミャンマー研修生は、自らオンラインでN3対策を学べるサイトを探し出し、集中して学習に取り組んでいます。模擬試験を行い、モチベーションを高めながら、各自学習に取り組めるといいです。そのような中、「大野城市日本語スピーチコンテストの参加者が少ないから、参加者を募っています」と声がかかりました。もともと2名が立候補していて、参加確定をしていたので、ほかの研修生は乗り気ではありませんでした。ところが、日本に来て半年、ここで日本での生活を振り返って言葉にしてみることは大事だと思うと話したら、ほとんどの人が各々のことばで書いてきてくれたのです。特に、国が内戦状態であり、9月には大雨洪水の被害が大きかったミャンマーの研修生の思いには、胸を打たれました。日頃は、国の現状に弱音を吐くこともなく、もくもくと研修に臨んでいる彼の強さを感じました。

### 農業研修生 B クラス

病気やけがでの通院でクラスに参加できない人もいましたが、コツコツ勉強を続けています。先日は特定技能として来日したインドネシア実習生が半日だけクラスに合流しました。距離を縮めようと自己紹介をさせたところ、回答が面白かったので紹介させてください。

【好きな食べ物→好きな日本語】

- ① サンゲル(チベット研修生) ラーメン → 「おはよう」
- ② カロ(フィジー研修生) みそ汁 → 「自分で!」
- ③ ベニー(PNG研修生) 魚のスープ → 「お願いしま～す」
- ④ エルサ(インドネシア研修生) ラーメン → 「おやすみ」



①と④でペアができたようで、クラスに笑顔が咲きました。

この質問、Aクラスでもしてみようと思います。そして、帰国前にもしてみたいです。(立石考子)

**さあ、まだまだこれから がんばれ 研修生!**

## 会員様紹介 南日本新聞社 様

### 【オイスカに入会したきっかけ】

記者派遣活動などを縁に当会の理念に賛同、微力ながら国際協力に貢献できればと、1998年に入会いたしました

### 【オイスカへのメッセージ】

弊社は、1881(明治14)年に創立、翌年創刊された「鹿児島新聞」を前身に、1946(昭和21)年に「南日本新聞」と改題し今日に至ります。連載「火山と人間」などで、新聞人にとって最高の名誉といえる日本新聞協会賞を計5回受賞するなど高い評価を得ています。自由に議論し意見や主張を表明できる社風が持ち味で、一党一派に偏しない公正中立な報道姿勢を貫いています。2030(令和12)年を目途とした新経営ビジョンで「総合情報企業への脱皮」を掲げました。これからも、良質なジャーナリズムを提供しながら、デジタル分野でも存在感を示し、顧客満足度の高い商品づくりと地域貢献に努めてまいります。なお、国際交流分野でも、県青少年国際協力体験事業に毎年記者を同行させるなど積極的に取り組んでおり、取材等を通じ本会の事業運営に協力してまいりたいと思います。

### 【会社紹介】

#### 南日本新聞社

所在地:鹿児島市与次郎1丁目9番33号

電話:099(813)5001

代表者:代表取締役社長 佐湯隆一

創立:1881(明治14)年

HP <https://373news.com/>



## 岩田産業フードフェア

9月18日(水)オイスカ会員企業としてご支援いただいている「岩田産業株式会社」様が主催する「フードフェア」に研修生を招待していただきました。会場のマリンメッセ A 館は多くの方が来場しており、各ブースではそれぞれの食品関係の企業が自慢の食材を試食として提供しており、研修生は企業の方と会話をしながら楽しそうに試食に夢中になっていました。会場の半分ぐらいをまわったところで全員お腹いっぱいになって、みなさん大満足の様子でした。(豊田)



## モンゴルー行来所・熊本モンゴル展参加

9月19日～21日にかけて、モンゴルから引率含め総勢22名の女性がセンターを訪問しました。今回の一行の目的は、21日(土)に熊本にて開催された「熊本モンゴルプロジェクト」のイベントへの参加が主な目的でしたが、センター滞在中には、マリンワールドへの見学や二見が浦の夫婦岩を見学したり、福岡の海をみなさんに満喫していただきました。また、唐津の七山にあるミカン農家さんを訪問して、極早生ミカンの試食をさせていただいたり、始めて経験することが殆どで、みなさんとても喜んでいただきました。21日には、熊本への移動中に日本エコシステム(株)が経営するエミューの飼育場の見学や今回新たにオープンしたカフェでエミューのハムを使ったサンドウィッチをいただき、モンゴルのみなさんもエミューのプロジェクトに興味津々でした。(豊田)



## MIZUHO pay pay ドーム野球観戦ご招待

9月25(水)オイスカメンバーの吉笑家様のご招待で海外研修生並びにスタッフ22名はプロ野球ナイトゲームの観戦をしました。福岡ソフトバンクのリーグ優勝後初めての福岡での試合になるようです。当日は福岡ソフトバンク対西武ライオンズの試合でした。研修生は日本のドーム球場で試合を見るのは初めてです。午後6時に試合がはじまり最初はルールもわからず観戦していましたが、観客の迫力ある応援の熱気に感動し見ているうちにだんだんと勝ち負けがわかるようになり、ソフトバンクを応援して応援したチームが勝ちました。日本ではプロ野球がこんなに人気のスポーツとは知らず、野球に興味も湧き好きになりました。この度はご招待をいただき本当にありがとうございました。吉笑家さんは試合期間中ドーム3F デッキ上のキッチンカーで「博多ホルチャン国産牛ホルモン焼き・チャンポン麺炒め」などを販売されています。とっても美味しいです!(ティン)



吉笑家キッチンカー店主: 吉岡様と一緒に!

## 海外研修生ドローンスクール講習

9月19日(木)海外研修生はオイスカ会員企業の(株)ホットプロシード(福岡市西区)様のご指導によりドローン操作についての講習を受けました。講習会ではドローン操作の航空法で定められた禁止事項などの説明を受け、研修生一人ずつ実際に操作をしました。カンボジア研修生のチャノさんは「初めての操作で多少緊張しましたが楽しく、帰国後は父の経営するキャッシュのプランテーションの生育観察に役に立てたいと話をしていました。(満川)



## ミカン栽培研修

9月6日と9日の2回に分けて、ミカンで有名な山川町でミカン栽培をしている田尻農園にて、ミカンの摘果作業の研修に行ってきました。小高い山の中腹にあるミカン園は、西の方向には有明海が見下ろせる素晴らしいロケーションのところにありますが、当日はものすごい猛暑で風もなく摘果作業をするのは大変でしたが、園主の田尻さんの指導を受けながら、パートの皆さんたちとも楽しく会話をしながら作業を行う事が出来ました。おいしいミカンを作るためには、このように大変な作業が必要なことを十分に理解することが出来ました。(豊田)



## オイスカ研修農場稲刈り



西日本研修センターでは秋のとり入れの稲刈りがはじまりました。今、毎日海外の研修生たちと一緒にコンバインを使って稲刈りをしています。現在西日本研修センターの農場には13ヘクタールの田んぼがあり、品種は「ゆめつくし、げんきづくし、ひのひかり、ピカマル、もち」を5月に田植えして天気もよく順調に生育してきました。ここ脇山地区は「すきさいでん(主基斎田)」にも選ばれ皇室に献上された地域です。大変おいしいので、ぜひオイスカのお米を食べてください。(マルビン)



**オイスカの新米が  
取れました～♪**

## 技能実習生新規配属 鶴田工業(株)様

9/6(金)に(株)鶴田工業様へ技能実習生としてラマさん・イペイさんが配属されました。2人ともインドネシアから7月に来日し、2カ月弱オイスカ中部日本研修センターで日本語研修を中心とした入国後講習を終えて西日本研修センターに来ました。慣れない環境の中での実習・生活が始まりますが、色々とコミュニケーションを取り合い出来る限りのサポートが出来たらと思います。鶴田工業様はじめ地域の皆様のお力をお借りすることもあるかと思えます。サポートよろしくお願いします！(浦上)

**ラマさん！ イペイさん！ 頑張れ！！**



**イペイさん ラマさん**

## 福岡市動植物園・「クレフ」ライブご招待

9月7日(土)、会員企業でいつもオイスカの活動を支援していただいているクリスター様からの招待で、福岡市動植物園の見学と、その日の夜に植物園の園内で開催された「クレフ」のライブに行ってきました。研修生にとっては初めての動物園ということで、すべての動物たちに驚きと興奮をしながら見入っていました。特に熱帯のサルがいるオリでは、パプアニューギニアの研修生がサル顔負けの鳴き声を出して、オリの中のサルの方が「珍しい動物がきたぞ」といった顔でこちらを眺めていたのが印象的でした。夜になってから大勢のお客さんが集まって「クレフ」のライブが始まり、約1時間程度の演奏でしたが、最終研修生は大盛り上がりで演奏を楽しんでいました。(豊田)

